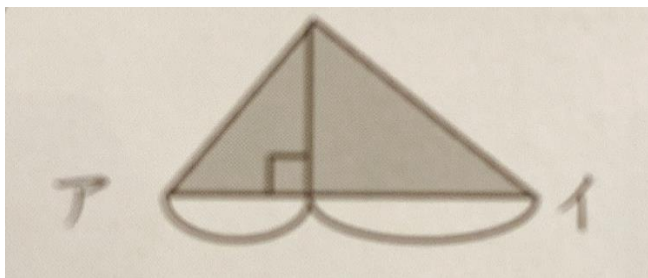


問題

紙を折らずに線対称か調べよう！

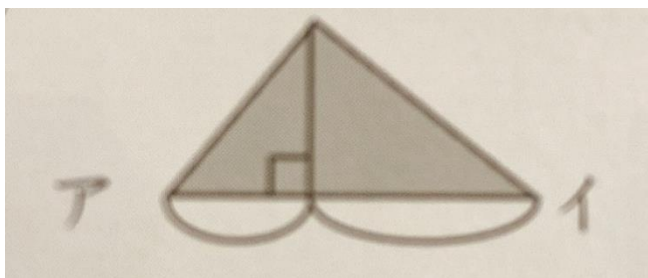
前は線対称な図形について学習をしましたね。
今回は紙を折ったりせずに、線対称な図形を調べてみましょう。

問題1 下の図は線対称な図形と言えるでしょうか。



言える？言えない？理由も書いてみよう

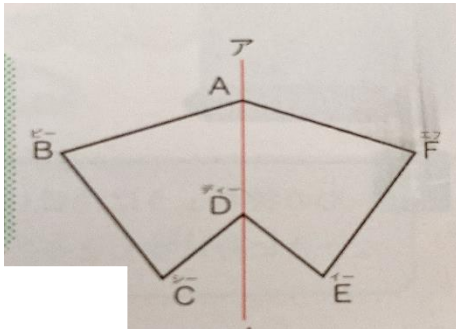
問題2 1の図形を線対称にするためにはどうすればいいだろうか？



対称の軸から、アとイまでの長さに注目するといいですね。



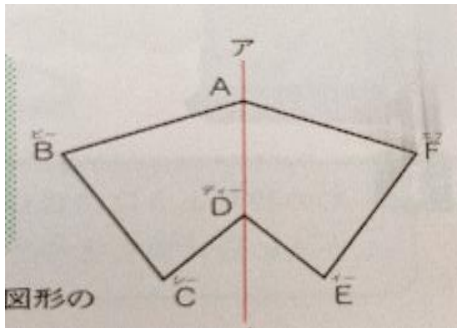
下の図形は、線対称の図形です。二つ折りにしたときにぴったりと重なり合う辺、角、点を、それぞれ「対応する辺」、「対応する角」「対応する点」といいます。



問題3 上の図を見て、対応する辺、対応する角、対応する点を答えましょう。

- ① 辺AB → _____ ② 辺BC → _____
 ③ 辺CD → _____ ④ 頂点B → _____
 ⑤ 頂点C → _____

問題4 下の図は教科書10ページの図形と同じものです。対応する辺の長さや、対応する角の大きさを調べてみましょう。(下の図ではなく、教科書の図形の長さを調べましょう)

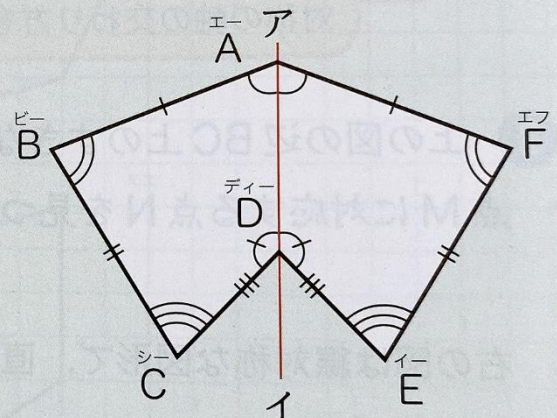


まとめ



まとめ

- 線対称な図形では、対応する辺の長さや、対応する角の大きさは等しくなっている。
- 対称の軸で分けた2つの図形は合同になっている。



<解答・解説>

問題1

①の問題は、対称の軸からアとイまでの長さが違っていませんね。
また、角アと角イの角度が違うことから、おっतरかさならない
ということに気付けるといいですね。



問題2 ぴったりと重なる線対称にするためには

- ・対称の軸からアとイまでの長さを同じにする。
 - ・角アと角イの大きさを同じにする。
- ということが書けているといいですね。



問題3

- ① 辺AB → 辺AF ② 辺BC → 辺FE
③ 辺CD → 辺ED ④ 頂点B → 頂点F
⑤ 頂点C → 頂点E

「合同」の学習でも 対応するという言葉が出てきましたね。



問題4 「対応する辺」や「対応する角」の大きさを調べよう

